

# みやま



新緑の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育の推進にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

早いもので、新年度も1ヶ月が過ぎました。今年はコロナ感染症防止対策の新たな転換期となるのに加え、交通安全（ヘルメット着用努力義務、自転車の乗り方、交通マナー）、防犯・公園での遊び方等、指導すべき内容も多くあります。

引き続き、保護者・地域の皆さまには、子供たちの見守り、声かけ等のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## どんな自分になりたい？

【学校教育目標】 **自ら学び、夢を追い続ける児童の育成**

～なりたい自分を見つけ、努力し続ける児童の育成～

先日、学校運営協議会を開催し、本年度の学校教育目標・教育方針が承認されました。

さて、ある本を読んでいるとこんな一文が目にとまりました。「自分の発した言葉で自分の人生をつくるのが人間です」どんな意味があるのかなと読み進めてみると、人は、「うれしい」「楽しい」「幸せ」「愛している」「大好き」「ありがとう」「ついている」…と続けると、この言葉しか言いたくなくなる人生に囲まれるのだそうです。例えば、「うれしい」「うれしい」と続けると、うれしいと言いたくなる人生に包まれるのだとか。そして、言葉の中で一番エネルギーのあるのが「ありがとう」。「ありがとう」と続けるとありがとうと言いたくなる人生に包まれるのだとか！不思議な話ですが、ワクワクする気持ちになります。

さて、本題です。お子様の「これからの夢、やってみたいこと、できたらいいなあと思うこと…」は、何でしょうか。「夢をかなえる」ってそう簡単なことではありませんし、努力も必要となるでしょう。ですが、その夢（願い）を何回も言い続ければ…その夢（願い）に包まれた人生を送れるのでしょうか。余談ですが、私の子供の頃の夢は「アメリカの大統領になる」でした。もし、言い続けていれば、今頃どうなっていたことでしょうか？

子供たちには、大人になるためのステージ、ステージで、やりたいことを見つける「楽しさ」を味わい「ありがとう」を大切に生活を送れるようになってほしいですね。そんな大人になれる子供たちでいっぱいになりたい。これが私のめざす学校です。

私の考える理想の学校とは、次のようになります。（ここからは、学校経営の方針です。）

「学校は、子供たちをはじめ、全ての人（保護者や地域の方々も）が成長する場であり、そのための学びの場です。そして、理想の学校とは、よりよい学びの環境が整えられている学校であり、なりたいと願う自分になることができる学校です。」

よりよい学びの環境が整っている学校とは、例えば、子供にとって「学びがいのある学校」、保護者にとって「安心して通わせることのできる学校」、教職員にとって「勤務しやすい学校」でしょう。学校は、全力でよりよい学びの環境を整え、子供たちの生きる力を育む。そして、子供たちは、培った力を生かし、なりたい自分を見つけ努力していく。また、保護者・地域の方々には、努力する子供たちを尾崎の宝として支え応援していただく。

学校目標は、「チーム尾崎」の理想の学校づくりへの取組の決意を表しています。

## 5月の行事予定

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1 (月) 家庭訪問                     | 10 (水) 創立記念日                   |
| 2 (火) 家庭訪問 弁当持参<br>1年生を迎える会・遠足 | 14 (日) タイムカプセルの日<br>18 (木) 参観日 |
| 3 (水) 憲法記念日                    |                                |
| 4 (木) みどりの日                    |                                |
| 5 (金) こどもの日                    |                                |



※6月3日(土)運動会【4日(日)予備日、5日(月)振替休業日】

- ・本年度は、午前中開催となります。種目内容や運営方法を検討し、全校一斉に開催します。また、当日は、弁当なしの半日授業日となります。
- 詳細は、改めてお便りいたします。

## 大人から子供たちへ「あいさつ」「声かけ」を

子供の安全につきましては、普段から「あいさつや声かけ」など気にかけて対応することが大切です。登下校中の交通事故をはじめ、命に関係する事件・事故は後を絶ちません。子供たちを守り育てる取組を学校・家庭・地域が一体となって進めていけますようご協力をお願いいたします。

### 保護者の皆様へ

#### 1 登下校時、下校後、休日等の過ごし方の指導を

- (1) 防犯ブザーをつけて登下校する。(鳴るかどうか、確認をお願いします。)
- (2) 寄り道をしない。複数で下校する。
- (3) 公園等で遊ぶ場合は、一人で遊ばず、必ず複数または保護者同伴で遊ぶ。
- (4) だれと、どこへ、いつ帰るのかを家の人に伝えてから出かける。
- (5) 困ったときには、子ども110番の店・家に逃げ込む。何かあれば、まずは110番。
- (6) 自転車のマナーを守る。(ヘルメットの着用、一旦停止など)

### 地域の皆様へ

#### 1 子供の見守り活動とは

○登下校の時間帯や放課後(15時~16時頃)等一定の時間、学校周辺、通学路、公園など子供が行動する場所で、子供を見守る活動です。

【活動例】 「掃除をしながら」「花に水をやりながら」「散歩をしながら」等

※毎日行っていることを、子供たちの活動時間帯に合わせて行う。

#### 2 子供の見守り活動のポイント

○できるだけ複数で、毎日続ける ○人通りの少ない場所で、時には場所を変えて

○不審者等の対応は、警察に通報を(110番)

○いつもの道や公園に不審な者(車)はいないか、異常はないか

○夕暮れ時に子供が遊んでいたら、早めの帰宅を促す声かけを

○危険な遊びをしている子供には、声かけを

**できるときに できることを  
できる人が できるところで**

## お知らせ

### ◇心と体のケアとして、ご相談ください◇

本年度から、SC(スクールカウンセラー)として、新しく梅園 美樹(うめそのみき)さんが着任されました。また、昨年に引き続きSSW(スクールソーシャルワーカー)として、西河 圭子(にしがわけいこ)さんが、赤穂東中学校との連携で勤務されます。

保護者の皆さまが少しでも心が軽くなるよう、また、様々な機関とつながることができるよう気軽に話や相談ができます。

お話や相談をしてみたいと思われる方は、担任までご連絡ください。